

千葉市立緑町中学校 キャリア教育グランドデザイン

国語科の研究について

全体研究主題との関わり		生徒の実態	
<p>『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 国語編』では、自分の考えを形成する学習過程が重視され、全ての領域において「考えの形成」に関する指導事項が位置付けられた。文章から読み取ったことを基に考えを形成するためには、読み取った情報と知識等を関連付けたり、言葉の意味を多面的・多角的に吟味したりする力が必要である。これらの力を生徒に身に付けさせるために、これまでの授業実践を振り返り、思考ツールや表現ツールなどを使い、思考を視覚化することで生徒の「考えを形成する力」を高めていきたいと考えた。</p> <p>自分の思いや考えを形成し、深めることはキャリア教育における「自己理解・自己管理能力」の育成につながっていくと考える。</p>		<p>昨年度末に実施した意識調査によると、70%以上の生徒が「国語を将来に役立つ学習」だと答えており、昨年度実施の県標準学力検査においても、全ての領域で県平均を上回る高い正答率となっている。</p> <p>昨年度は、自分の考えを形成することを課題としてペア学習やグループ学習などの活動を取り入れ、交流を通して考えを伝え合う場を重視した授業を意図的に行った。その結果、ワークシートなどへの記述量が増え、以前よりも積極的に自分の考えを形成しようとする生徒の姿が見られるようになってきた。しかし、個々の考えを伝え合う場面では、お互いの意見の発表に留まってしまうこともあった。そこで、他者と考えを共有する中で相手の思いを受け止め、深く思考する力を高めていきたい。</p>	
研究主題			
<p>自己理解・自己管理能力を高めるための指導の在り方 ～思考を視覚化する活動を通して～</p>			
目指す生徒の姿			
㊦ とめあう力	㊦ つめる力	㊦ いだす力	㊦ とおす力
<ul style="list-style-type: none"> 異なる立場や考えを想定して自分の考えをまとめ、論理的な構成や展開を考えて話すことができる。 場の状況や相手の様子に応じて話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 質問しながら聞き取り、自分の考えとの共通点や相違点を整理することができる。 文章に表れているものの見方や考え方について知識や体験と関連付けて自分の考えをもつことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 考えや気持ちを、根拠を明確にして書くことができる。 資料などを活用して説得力のある話をするすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な方法で選んだ本や文章などから、適切な情報を得て、自分の考えをまとめることができる。 文章の形態を選択して適切な構成を工夫することができる。